

# 平成28年度 事業報告書

社会福祉法人 南寿会

|            |         |
|------------|---------|
| 特別養護老人ホーム  | サンシニア河津 |
| ショートステイ    | サンシニア河津 |
| デイサービスセンター | サンシニア河津 |
| 訪問ヘルプサービス  | サンシニア河津 |
| 居宅介護支援事業所  | サンシニア河津 |

<平成 28 年度事業計画評価>

[特養]

事業計画については、各部門、ユニット毎に計画がされています。各部門の部署長には、半期毎に事務長、施設長で面談を実施、ユニットについては、年度末に事務長、施設長で実施しました。各部門、各ユニットの計画については、概ね実施し成果をあげました。

(相談員) 死亡退去者 24 名 入居者 24 名

待機者 約 35 名

法令順守に基づき、優先入所検討会、入所判定会を経て、必要性の高い方から入居へとつなげました。

(介護) 生活状況をご家族面会時に報告、年 3 回は生活状況報告をユニット毎に郵送しました。健康面等の日常変化は、その都度相談員を通じて報告しました。

(看護) 看護師 4 名体制を確立することにより、看護内容の充実と外部受診の同行を行うことで、受診者への安心と病院側への要望に応えました。また、夜間電話当番による看護師一人の負担軽減につながりました。

週 1 回の今井浜病院吉村 Dr による回診を実施しました。

年 1 回の協力医療機関今井浜病院による健康診断を実施しました。

(介護支援専門員)

看取り介護の中心的役割を果たし、週 1 回の看取りカンファを開催しました。

平成 28 年度は 11 名の方が看取り介護としてお亡くなりになりました。

平成 29 年 5 月現在、4 名の方に看取り介護を実施しています。

ご入居者の状況変化に合わせたケアプランの作成を都度おこなっており、隔月毎に開催するカンファレンスにより評価しています。その都度、御家族の希望に沿うよう、細やかな報告・相談を行ないました。

(研修) 外部研修 29 件 外部研修に参加した職員が講師となり、内部研修につなげました。

[給食]

(食数) 特養 75.238 (おやつ)

ショート 9.386 3.462

デイ 8.363 8.183

平成 28 年度も優良給食施設表彰を続けて受賞しました。

(研修) 1 件 外部研修に参加した職員が講師となり、内部研修につなげました。

[短期入所生活介護]

高い稼働率を保った運営を続けました。相談員、担当スタッフの連携、サービス提供により、御利用者、御家族の信頼と高い満足度を得ています。10 床という規模から、他事業

者へ利用希望者を流す状況にあります。

#### [通所介護]

B型：外部、内部研修を通じて接遇の向上に努めました。

E型：地域密着という特性から、運営推進会議を通じて包括支援センター、地域住民との連携を図りました。御利用者の認知症進行予防と改善を目指すと共に、御家族のレスパイトケアに努めました。

(研修) B型 11件

E型 4件

外部研修に参加した職員が講師となり、内部研修につなげました。

#### [訪問介護]

ヘルパー職員の高齢化と人員不足

賀茂地区だけでなく、どこもが抱える課題となっています。人員不足により、新規の御利用者へのサービス提供が難しくなっています。高齢化＝将来的には更なる人員不足を招く可能性が高いことから、対策をたてる必要がありました。

平成28年度から準備を進め、平成29年度より、介護職員初任者研修資格の取得費用を施設が負担し、卒業後にヘルパーとして働いてもらうこととしました。29年5月現在、1名が採用となりました。

(研修) 8件 外部研修に参加した職員が講師となり、内部研修につなげました。

#### [居宅介護支援事業所]

特定事業所加算Ⅱを取得しており、地域連携を図りながら、困難事例等も積極的に引き受けました。

(研修) 5件 外部研修に参加した職員が講師となり、内部研修につなげました。

#### [施設全体]

<平成28年度施設目標>

『笑顔あふれる、職場とサービス提供』

笑顔がもつ、優しさ、明るさ、温かさは、我々、サンシニア河津に於いて、職場やサービス提供の原点であると考えます。人に対する思いやりや優しさ、人の痛みに共感できる感受性や、それを作り出す職員個々の強さはとても大切です。

職員一人ひとりが安心して心地よく働ける職場を作っていくことで、そこから生まれる笑顔が、更に仕事へも波及し、御利用者・御入居者に法人理念である「安らぎと人生の輝き」が保障される。これを平成28年度の施設目標とします。

職員一人ひとりが改善意識を強く持ちましょう。改善意識の強い職員は、更に周りの職員を巻き込んで行きましょう。

(守りましょう。基本となる5つのルール)

1、丁寧な言葉遣い

- 2、適切な態度をとる
- 3、感情をコントロールすること  
私的なことを仕事に持ち込まない
- 4、周りの職員が気持ち良く働けるように心掛ける
- 5、報告・連絡・相談をしっかりとする

(研修) 全体：58件

塩田統括主任が主導して、各部署長との面談を経て、年度計画を作成しそれに基づき、外部研修を実施しました。

(総括)

施設、各部署事業計画につきましては、概ね計画通り実行することが出来ました。施設目標についても、職場環境を理由に離職する職員はありませんでした。また、職場環境を問題としての相談もありませんでした。施設内、職員内に基本となる5つのルールが浸透、定着しつつあると考えます。離職者を生まない施策として、嘱託職員から正職員への昇格の道筋を明確に示しています。平成28年度末の人事考課により、4名の嘱託職員が正職員へ昇格しました。

反省すべきは、平成29年1月に発生させてしまったインフルエンザ集団感染があります。原因は、予防・初動の遅れであり、施設管理者である私の判断が招いた結果でした。これは、マニュアルを生かしきれなかった私の責任です。同じ轍を踏まぬよう、万全を期し感染対策に臨みます。